

○水稲用除草剤には、畦畔からも処理できる豆つぶ剤、楽粒剤、FG剤、ジャンボ剤、水口に設置する顆粒水和剤など、水田に入らず散布できる剤型が各種開発されています。

○また、ドローンを使用した散布技術も開発されるなど、省力化に貢献しています。

畦畔からの散布(豆つぶ剤の例)

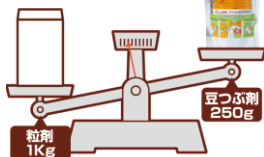
豆つぶ剤は自己拡散性に優れ、10a当たりの散布重量は



**1キロ粒剤の1/4
フロアブル剤の1/2**

に抑えることができます。

■10aの圃場の場合



【ひしゃくを使用した散布】



水口処理(顆粒水和剤)

薬剤が入ったメッシュバッグを水口に設置し、水の勢いで薬剤を拡散させます。



メッシュバッグ



スツと溶けて…

じっくりと拡がり…

隅々まで行き渡る!

ドローン散布

ドローンを使用することで、広範囲の面積を短時間で散布することが可能になります。



【ドローン散布に適した剤の例】



エンペラー豆つぶ



カイリキZ
フロアブル



バッテリLX
1キロ粒剤